

## 第5回千歳市商業振興懇話会 開催結果

日 時 平成28年2月8日（金）午前10時から午後12時00分

場 所 千歳市社会福祉協議会 2階 会議室

出席者 委員13名、事務局ほか8名

議題等 1 審議事項（第2期千歳市商業振興プラン（素案）について）  
2 その他

結 果 1、2の議事経過は次のとおり

### 【発言要旨】

議事経過の概要は次のとおりである。

#### 1 審議事項

次のような意見があった。

○第2期千歳市商業振興プラン（素案）等について

- ・方向性であるが、4番目「中心市街地のにぎわいの再生」については、他の3つの方向性が達成されることにより実現するようなイメージがあり、一階層レベルが合わないように感じるので、この4番目の方向性は「にぎわいの形成」のような表現が良いと思う。
- ・千歳タウンプラザについて、民間図書館等、展開される事業の具体的な内容について話が進んでいるのなら、プランにおいてもタウンプラザの機能を盛り込んでもよいのではないか。
- ・無料WiFiについて、他県においてサイバー攻撃事例を報道で見たが、セキュリティについて個店等への支援が必要ではないか。
- ・ITについては、今は社会インフラのひとつとなっており、モラルの啓発は行政が行ってもよいかもしれないが、情報端末の適正管理は、個店やサービス事業者の責任となると考える。
- ・中心市街地、中心商店街の定義がわかりづらい。ことばの統一を図ったほうが良い。
- ・まちの中心がずれてきていることは悪いことではなく、時代とともに変遷するのは当然のことである。商店街の役割も変わってくるし、新しいエリアが出来てこないと活性化もしない。主体は商業者であり、行政に求められることは大胆な規制緩和程度のものである。
- ・市全域の商業振興プランとなっているとの話だが、文章構成上、中心市街地のプランとも読める。表現についてわかりやすくした方が良い。
- ・後継者不足との声も聞くところであり、空き店舗の解消等の課題に対し、具体的に前進させていかないと空き店舗は増えていくばかりである。
- ・駐車場について、「必ずしも来店に影響していない」との記述があるが、全体的に見渡すと齟齬があるように思うので表現の見直しをした方が良い。
- ・千歳は子育て世代が多いまちであることから、保健福祉分野でも子育て環境を整える施

策を展開しているが、商業分野においても、子育て世代にアピールするような事業を考えていくと良い。

- ・インバウンド対応として、大型バスが駐車しやすい環境づくりなどは盛り込めないか。
- ・子育て世代の方からは、負担感の軽減を望む声があり、まちなかにコミュニケーション機能ができることは望ましい姿である。障がいを持つ方に対しては、今後、情報発信・情報共有の場が提供されると良いと思う。
- ・市域全体のプランであることがきちんと伝わるようにしてほしい。
- ・車社会であり、車で移動し買い物後には帰るといった行動はよく見られるものの、商店街等における回遊性が高まることにより滞在時間が増え、消費増につながるが見込めるため、中心市街地においては、歩きやすい空間の構築に積極的に取り組んでいただきたい。